

「ふくい WOOD バイオマスセンターによる取組み」 が「2016 年度 グッドデザイン賞」を受賞

フクビ化学工業株式会社、坂井森林組合、株式会社グランディア芳泉の「ふくい WOOD バイオマスセンターによる取組み」が 2016 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。「ふくい WOOD バイオマスセンターによる取組み」は福井県内の異業種が共同で行っている間伐材の有効利用による地域活性・環境共生の試みで、特に「1 次産業から 3 次産業まで、地域のものづくりと森づくり、どちらも生かすビジネスモデルとなっている。」として高く評価されました。当社では今回の受賞を契機に、「ふくい WOOD バイオマスセンター」で製造される木粉樹脂ペレット（フクウッド）を原材料とした木質プラスチック建材「プラスッド」の販売拡大を図るとともに、ブランドイメージの向上に努めてまいります。尚、フクビ化学工業株式会社は、昨年（2015 年度）のグッドデザイン・ベスト 100 に続いて 2 年連続の受賞となります。



GOOD DESIGN AWARD 2016 年度受賞

受賞対象名

間伐材の有効利用に関する環境共生

ふくい WOOD バイオマスセンターによる取組み

概要

本取組みは、異業種が一緒になった間伐材の有効利用に関する試みである。森を整備する（1 次産業）過程で出る間伐材から木質切削チップや木粉を製造し、さらに木粉樹脂ペレットを原料とした木質プラスチック建材プラスッドへと展開（2 次産業）。木質切削チップは、温泉旅館のシャワー給湯用燃料に、プラスッドは公共施設等の外装建材として使用されている（6 次産業）。



受賞企業

フクビ化学工業株式会社（福井県）、坂井森林組合（福井県）、株式会社グランディア芳泉（福井県）

グッドデザイン賞審査委員の評価コメント

間伐材の地産地消を通じて森林保護、省資源、地域活性に貢献するため、複数の業種が協調して、人工建材への木粉活用、旅館のボイラーで切削チップを燃料として使用、学びの場として工場見学を実施するなど、立体的に 6 次産業モデルを構築。1 次産業から 3 次産業まで、地域のものづくりと森づくり、どちらも生かすビジネスモデルとなっている。

グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビジョン 2016（G 展）」に出展

本年 10 月 28 日（金）から 11 月 3 日（木）まで、東京ミッドタウンで開催される最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビジョン 2016（G 展）」会場で、「ふくい WOOD バイオマスセンターによる取組み」が本年度受賞デザインとして紹介されます。